

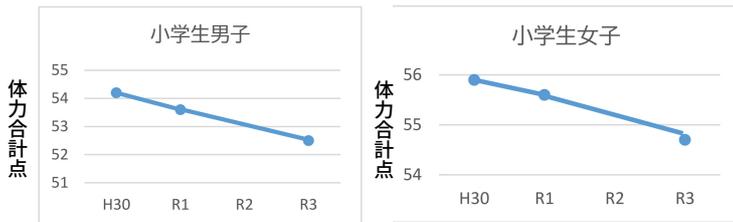
## みんなで子どもの「育ち」を支えよう！

「子どもが健やかに育つ」には様々な環境が必要です。家庭での生活や屋外での遊び、体を動かす機会など直接的・具体的な体験ができる環境にいることによって心と身体が発達し、社会性が育まれます。そのため幼少期の教育は、知能面・感情面・人格形成・人間関係の構築などあらゆる面において、重要な時期と言われています。以前は家庭や地域の大人や学校など多くの目で子どもたちの成長を見守る環境がありましたが、現在は様々な社会情勢の変化により、幼少期の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。

- ・ 現在の子どもたちは体験の機会が少ない！？
- ・ 子どもたちの運動時間が減っている！？
- ・ 家庭内でのコミュニケーションが取りにくくなっている！？

幼少期の自然体験をはじめ、直接触れる体験的な活動はとても大切です。また、子どもが外遊びなどを通じて、身体を動かすことは、心身や脳の発達に大きく影響します。

最近では、犯罪や交通安全に対する不安や、デジタル機器の普及などにより、身体を動かす機会が限られています。



令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(概要)について(スポーツ庁)

※体力合計点…小中学校で8種類の記録を男女別で点数化(1~10点)し、その合計点を80点満点で数値化したもの。

自然体験をしている子どもの方が自立した行動習慣が身についているという調査結果もあるみたい！

※青少年の体験活動等に関する意識調査(令和元年調査)



そして家庭は子どもたちの豊かな情操を育む大切な場ですが、共働きやひとり親など家庭を取り巻く環境の変化から、子どもとのコミュニケーションや子育てに悩んでいる人もいます。

安曇野市内では、こうした状況にある子どもの成長を支えるために活動している人たちがいます。今回はそんな皆さんの取り組みを紹介します！

# NPO法人響育の里 くじら雲



## NPO法人響育の里くじら雲とは？

豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育・幼児教育（信州やまほいく）を行っており、令和3年度から明科北認定こども園の保育業務を受託している法人です。代表の依田さんは、子どもたちが暮らしの中で自然の循環を感じ理解できるようにという思いから、幼児からの環境教育プログラムを取り入れた親参加型の拠点を明科の押野山中腹の古い養蚕農家の中に作りました。そこへ参加していた保護者から「子どもが3歳になった以降も自然の中で育てたい」との要望があり、くじら雲を設立しました。子どもも親も保育者もともに学び、育ち合うコミュニティづくりを目指しています。

## 大切にしていることは？

園での子どもたちは登山、田んぼや畑づくりをしたり、お泊り会をしたり、多くの時間を自然の中で過ごします。畑づくりではみんなで苗を買いに行き自分で選んだり、お泊り会の内容はみんなで納得するまで話し合って決めます。依田さんは、「子どもたちが、自ら考えて行動したり、他者と協力する力を身につけられるように体験の場や考える機会の提供を大切にしている」といいます。

今後は地域の方の暮らしの一部となれるよう、環境を整えていきたいとお話くださいました。



NPO法人響育の里くじら雲  
代表 依田敬子さん

# NPO法人GRITBASE

ぐりっとベース

## NPO法人GRITBASEとは？

子どもたちに身体を動かす楽しさを伝えるために活動している法人です。コーディネーションスクールを通じてスポーツや運動をもっと身近に感じられるように任意団体として活動してきましたが、コロナ禍でなかなか思うように活動ができなくなり、「子どもたちに運動を教えたい」「もっと活発に活動したい」と令和3年にNPO法人を設立しました。

## どんな事をしているの？

運動不足による体力や気力の低下など様々な課題を解決するため、現在はこども園で巡回教室や「うんどうのじかん」「コーディネーションスクール」を開催し、子どもが身体を動かして遊びたくなる環境づくりをしています。教室では最初からやり方を教えるのではなく、子どもたちが自分で考えながら身体の動きを知ることができるように行っています。それにより子どもたちが「こうやったらうまくできた!」ということを経験し、「身体を動かすことが楽しい!」と感じてもらうことを目的にしています。

中川さんはこうした教室を通じて子どもたちに運動の習慣はもちろん「何があっても立ち上がり、自分なら大丈夫かもしれないと思える力」を身に付けてほしいと言います。子どもたちが様々なことに挑戦し「育つ力」を伸ばせるよう各教室の開催に力を入れていると教えていただきました。



NPO法人GRIT BASE  
代表 中川菜成さん

# メンタルカウンセリング・ブレイン

## メンタルカウンセリング・ブレインとは？

SAT療法を用いたカウンセリングを行い、不安など様々な悩みを持つ方の解決のお手伝いをしています。SAT療法とは、考え方ではなく「感じ方」を変える心理療法です。代表でカウンセラーの田中さんは令和4年に大阪から安曇野市に移住し、もともと行っていたカウンセリング業務を継続するために、市内にカウンセリングルームを開業しました。

カウンセリングをする中で、子どもの不登校に悩む保護者の相談が多いことや、田中さん自身が子どもの頃に誰にも相談できずに苦しくなってしまった経験から、不登校で悩む親子のサポートをしたいと思い、現在はセミナーを開催したり、不登校の子どもの居場所づくりを行う団体の活動に参加したりしています。

## 活動への思いは？

不登校で悩む親子はなかなか相談できず問題が大きくなってから相談に来るケースが多いことや、「学校に行く」など枠に当てはめて問題を解決しようとする保護者が多いと感じているようです。問題を根本から解決するために、家庭で子どもがなんでも相談し安心できる環境を大切にしており、そのためにも親子の関係づくりができるように取り組んでいます。

田中さんは「カウンセラーへの相談は敷居が高く感じるかもしれないが、悩みを持つ人の身近な存在になりたい」と話します。



メンタルカウンセリング  
ブレイン  
代表 田中琴美さん

## 市長と対話しよう！ 「ゆたかの飛耳長目」

### 飛耳長目とは？

太田寛市長が直接皆さんの声を聴き、意見を交わす「対話の場」です。

懇談テーマは自由。「市と一緒にこんな取り組みがしたい」「もっとこうなったら活動がしやすくなる」など、まちづくりについて前向きな意見交換をしませんか。

【これまでのテーマ例】

- ・シェアハウス活用の可能性
- ・精神障がい者及び家族が生きやすい街づくり

### 対象

市内で活動する団体、仲間などのグループ  
概ね10人程度

(政治や宗教・営利目的とした団体は対象外)

### 会場

市役所または団体・グループの活動場所

### 開催日時

原則平日午前9時～午後5時

懇談時間は1時間30分以内

※申込から開催まで1ヶ月以上時間を要します。



◀ 飛耳長目ホームページ



会場ホームページ ▶

## 会見場で情報発信しよう！

今年6月から会見場が使えるようになりました。情報発信の場として誰でも利用できます！皆さんの活動を広く周知するために、ぜひご利用ください！

【こんなことに使えます】

- ・メディア向けイベント告知
- ・SNSで発信する動画撮影

### 場所

安曇野市役所  
本庁舎4階

### 利用時間

平日午前9時～午後5時の間で最大1時間30分  
(準備・片付け含む)

### 利用料金

無料

### 申込

使用日の1カ月～1週間前に申込書を提出  
(インターネット上でも申込可)



「飛耳長目」会見場の  
申込・問い合わせは  
秘書広報課 Tel71-2400へ！



## ココクル ボッチャクラブ

障がいや年齢に関係なく楽しめるボッチャを毎月1回練習しています。ボッチャをやりたい・関わりたい人、気軽に集まれ！

- ・日 時 8月12日(土) 12:00 ~ 14:00
- ・場 所 堀金公民館 講堂
- ・参加費 無料
- ・申 込 不要
- ・持ち物 飲み物、動きやすい服装
- ・問い合わせ つむぐ広場ココクル 松永さん  
hirobakokokuru@gmail.com

## こちょ会 **要申込**

「子どもをくすぐっても笑わない」「ジッとしていられない」など思い当たることはありませんか？気づいたときから育て直しができ、お母さんもお子さんも笑顔が増えます！

- ・日 時 8月23日(水) 9:30~10:20
- ・場 所 三郷農村環境改善センター
- ・参加費 300円
- ・講 師 赤沼 美奈子さん
- ・問い合わせ こちょこちょの会 赤沼さん  
090-4153-9168

## CAFÉ スタイル茶話会 **要申込**

子どもの病気や障がいと向き合う中で、抱える悩みや不安、葛藤、嬉しいこと、聞きたい事などお茶を飲みながらおしゃべりしませんか？

- ・日 時 8月24日(木)  
10:00~12:00
- ・場 所 碌山公園穂高研成ホール
- ・定 員 7名(託児あり)
- ・問い合わせ ピアサポート shushu  
公式LINEより申込・問い合わせ⇒



## 安曇野歴史サロン～安曇族の歴史ロマンと志賀島～

友好交流都市である福岡市東区との交流事業です。古代に全国に進出したといわれる安曇族。その故地と知られる北九州の志賀島にある志賀海神社の歴史を紐解きます。

- ・日 時 8月26日(土) 15:00~17:00
- ・場 所 穂高交流学習センターみらい 多目的交流ホール
- ・参加費 500円 ・定員 200名
- ・講 師 阿曇 幸興さん、百瀬 新治さん
- ・問い合わせ 安曇野市役所政策経営課 0263-71-2401  
安曇誕生の系譜を語る会 川崎さん  
090-5779-5058

## 第2回市民活動セミナー **要申込**

地域の希薄化が進む中、これからの自治会運営について考えてみませんか？

- ・日 時 8月20日(日) 13:30~16:30
- ・場 所 豊科交流学習センター きぼう
- ・講 師 宮本 諭さん(特定非営利活動法人 CR ファクトリー)
- ・参加費 無料
- ・申 込 安曇野市市民活動サポートセンター  
0263-71-2013 8月16日(水)まで

## NPO 法人のガバナンス「監事の役割」 **要申込**

監事に就任したばかりの方、法人運営のどんなところをチェックすればいいか学びたいという方におすすめです。

- ・日 時 8月21日(月) 13:30 ~ 15:15
- ・場 所 オンライン(Zoom)開催 ※URLは別途案内
- ・講 師 登内 豊明さん(公認会計士・税理士)
- ・申 込 ながの電子申請サービスから申込み
- ・問い合わせ 長野県企画振興部広報・共創推進課  
026-235-7189

## 長野ろうきん NPO 自動寄付システム助成金

- ・助成対象 長野県内を拠点とした公益的に活動する団体(法人格の有無は問わない)
- ・助成内容 子ども育成、まちづくり、学ぶ若者応援等の活動
- ・助成金額 1団体あたり30万円程度
- ・助成期間 助成決定日～令和6年10月31日まで
- ・応募期間 8月3日(木)まで
- ・提出先、問い合わせ  
公益財団法人長野県みらい基金 松本事務所  
〒390-0852 長野県松本市島立1020 松本合同庁舎2階  
matsumoto@mirai-kikin.or.jp

## 信州 eye 基金

- ・助成対象 長野県内を拠点とした公益的に活動する団体(法人格は問わない)
- ・助成内容 視覚障がい者の学習支援、生活支援
- ・助成金額 1団体あたり85万円
- ・助成期間 助成決定日～令和6年9月30日まで
- ・募集期間 7月4日(火)～8月8日(火)まで
- ・提出先、問い合わせ  
公益財団法人長野県みらい基金 松本事務所  
〒390-0852 長野県松本市島立1020 松本合同庁舎2階  
matsumoto@mirai-kikin.or.jp

## 【発行】安曇野市市民活動サポートセンター

〒399-8281 安曇野市豊科6000番地 安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課内  
電話 0263-71-2013 時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15  
メール kururin@city.azumino.nagano.jp ※祝日/年末年始(12/29～1/3)除く

ホームページ



Facebook



Instagram



## イベント情報をお寄せください

市民活動サポートセンター通信やホームページで、活動やイベントの広報をします。お気軽にご連絡ください。